



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 大日本塗料株式会社
 コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6266-3102

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	55,156	0.9	4,375	6.5	4,583	3.9	2,829	5.1
2019年3月期第3四半期	55,640	0.3	4,680	9.0	4,770	3.5	2,982	16.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,819百万円 (4.0%) 2019年3月期第3四半期 2,712百万円 (40.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	99.51	98.83
2019年3月期第3四半期	103.79	103.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	80,929	46,543	54.1	1,546.57
2019年3月期	78,880	45,083	53.6	1,478.43

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 43,766百万円 2019年3月期 42,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	2.7	5,600	15.2	5,800	12.1	3,500	12.5	123.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	29,710,678 株	2019年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,411,275 株	2019年3月期	1,115,906 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	28,430,501 株	2019年3月期3Q	28,734,922 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、輸出を中心に弱さが長期化しております。加えて、通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等に留意する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は国内塗料事業及び海外塗料事業において前年同期を下回り、551億5千6百万円（前年同四半期比 0.9%減）となりました。営業利益は照明機器事業では大きく収益性が改善したものの、国内塗料事業及び海外塗料事業において需要が低調に推移し、43億7千5百万円（同 3億4百万円減）、経常利益は45億8千3百万円（同 1億8千6百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億2千9百万円（同 1億5千3百万円減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

構造物分野では、期中より市況に回復の動きが見られ、売上は前年を上回りました。建材分野では、新設住宅着工戸数減少の影響を受け、売上は前年を下回りました。利益面では、原材料価格高騰の影響は軟化しているものの、売上の減少及び本社移転に伴う費用の発生により前年を下回りました。

この結果、売上高は397億5千8百万円（前年同四半期比 1.5%減）、営業利益は19億6千5百万円（同 4億5千7百万円減）となり、減収減益となりました。

〔海外塗料事業〕

東南アジア市場では、主要顧客の減産等により自動車部品分野の需要が低調に推移し、売上、利益ともに前年を下回りました。中国市場では、自動車生産台数の落ち込みや輸送機器向け需要の減少により、売上、利益ともに前年を下回りました。北中米市場では、自動車部品分野の売上は増加しましたが、高付加価値品の販売が減少し、利益は前年を下回りました。

この結果、売上高は54億7千2百万円（前年同四半期比 8.6%減）、営業利益は6億5千万円（同 2億3千7百万円減）となり、減収減益となりました。

〔照明機器事業〕

業務用LED照明分野では、首都圏を中心とした宿泊施設や商業施設向けの間接照明需要が好調に推移したほか、照明工事の受注も増加し、売上は前年を上回りました。利益面では、売上の増加に加えて生産効率向上への取り組みが奏功し、前年を上回りました。

この結果、売上高は74億8千2百万円（前年同四半期比 10.5%増）、営業利益は13億9百万円（同 4億5千4百万円増）となり、増収増益となりました。

〔蛍光色材事業〕

顔料分野では、国内市場において高付加価値品の販売が堅調に推移し、売上は前年を上回りました。利益面では、原材料価格の高騰に対し、販売価格の適正化が伸展したことで、前年を上回りました。

この結果、売上高は10億1千3百万円（前年同四半期比 4.2%増）、営業利益は9千1百万円（同 3千3百万円増）となり、増収増益となりました。

〔その他事業〕

売上高は14億2千9百万円（前年同四半期比 8.4%減）、営業利益は1億6千9百万円（同 8千3百万円減）となり、減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は809億2千9百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億4千9百万円の増加となりました。流動資産は346億6千5百万円で前連結会計年度末と比較して7億2千3百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少3億3千5百万円、受取手形及び売掛金の減少3億7千6百万円、たな卸資産の増加2億6千3百万円、その他の減少2億8千7百万円が主因であります。固定資産は462億6千4百万円で前連結会計年度末と比較して27億7千2百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加21億3千6百万円、無形固定資産の減少3億2千万円、投資その他の資産の増加9億5千7百万円が主因であります。

負債は343億8千6百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億8千9百万円の増加となりました。流動負債は275億1千万円で前連結会計年度末と比較して1億8千万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少7億9千2百万円、短期借入金の増加11億7千2百万円、未払法人税等の減少1億1千2百万円、その他の減少4億2百万円が主因であります。固定負債は68億7千5百万円で前連結会計年度末と比較して7億7千万円の増加となりましたが、これは繰延税金負債の増加3億9千5百万円、リース債務の増加2億9千1百万円が主因であります。

純資産は465億4千3百万円で前連結会計年度末と比較して14億5千9百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加21億1千万円、自己株式の増加3億3百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億1千3百万円、為替換算調整勘定の減少1億5千2百万円、退職給付に係る調整累計額の減少4億6千5百万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高に関しては、国内塗料事業が新設住宅着工戸数の減少や消費税増税後の消費停滞等の要因により、工業用途を中心に需要が想定を超えて落ち込んでいること、また海外塗料事業が総じて自動車生産台数の減少の影響により需要が想定を超えて落ち込んでいることから、前回予想を下回る見込みです。

利益面に関しても、売上の減少に対して経費削減に努めたものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益ともに、それぞれ前回予想を下回る見込みです。

以上を踏まえ、2019年5月10日に公表しました連結業績予想を次のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,000	6,600	6,600	4,000	139.89
今回修正予想 (B)	73,000	5,600	5,800	3,500	123.11
増減額 (B - A)	△2,000	△1,000	△800	△500	
増減率 (%)	△2.7	△15.2	△12.1	△12.5	
(ご参考) (2019年3月期)	73,743	6,039	6,210	3,604	125.61

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,871	5,535
受取手形及び売掛金	18,387	18,010
商品及び製品	5,623	5,846
仕掛品	784	799
原材料及び貯蔵品	3,107	3,132
その他	1,665	1,378
貸倒引当金	△50	△37
流動資産合計	35,388	34,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,051	19,712
減価償却累計額	△13,843	△13,913
建物及び構築物 (純額)	5,208	5,798
機械装置及び運搬具	21,869	22,386
減価償却累計額	△18,441	△18,810
機械装置及び運搬具 (純額)	3,428	3,576
土地	11,768	11,798
リース資産	1,123	1,188
減価償却累計額	△591	△664
リース資産 (純額)	531	523
建設仮勘定	378	1,254
その他	5,664	6,453
減価償却累計額	△4,533	△4,822
その他 (純額)	1,130	1,630
有形固定資産合計	22,446	24,582
無形固定資産		
リース資産	159	160
その他	654	332
無形固定資産合計	813	492
投資その他の資産		
投資有価証券	6,652	7,118
繰延税金資産	1,989	1,760
退職給付に係る資産	11,044	11,741
その他	611	632
貸倒引当金	△67	△64
投資その他の資産合計	20,231	21,189
固定資産合計	43,491	46,264
資産合計	78,880	80,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,042	17,250
短期借入金	3,237	4,410
リース債務	207	234
未払法人税等	431	318
役員賞与引当金	61	—
製品補償引当金	348	336
その他	5,362	4,959
流動負債合計	27,691	27,510
固定負債		
リース債務	554	845
繰延税金負債	3,256	3,652
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	841	866
環境対策引当金	96	96
その他	53	111
固定負債合計	6,105	6,875
負債合計	33,796	34,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,440
利益剰余金	23,906	26,017
自己株式	△1,317	△1,621
株主資本合計	33,868	35,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,400	2,714
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△212	△365
退職給付に係る調整累計額	4,336	3,871
その他の包括利益累計額合計	8,407	8,103
新株予約権	176	204
非支配株主持分	2,631	2,572
純資産合計	45,083	46,543
負債純資産合計	78,880	80,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	55,640	55,156
売上原価	39,004	38,577
売上総利益	16,635	16,578
販売費及び一般管理費	11,955	12,203
営業利益	4,680	4,375
営業外収益		
受取利息	13	16
受取配当金	172	189
その他	203	199
営業外収益合計	389	406
営業外費用		
支払利息	40	39
支払補償費	13	52
製品補償引当金繰入額	97	2
その他	147	103
営業外費用合計	298	197
経常利益	4,770	4,583
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	4	0
負ののれん発生益	—	26
特別利益合計	7	30
特別損失		
固定資産処分損	53	93
ゴルフ会員権評価損	14	5
事業構造改善費用	—	37
その他	—	2
特別損失合計	67	139
税金等調整前四半期純利益	4,710	4,475
法人税、住民税及び事業税	692	695
法人税等調整額	716	697
法人税等合計	1,409	1,393
四半期純利益	3,301	3,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	318	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,982	2,829

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,301	3,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	313
為替換算調整勘定	79	△110
退職給付に係る調整額	△379	△465
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△588	△262
四半期包括利益	2,712	2,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,316	2,525
非支配株主に係る四半期包括利益	395	294

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が308百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,621百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社宇部塗料商会の全株式を取得したことにより、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	40,353	5,984	6,768	972	54,078	1,561	55,640	—	55,640
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	816	0	4	50	871	1,859	2,731	△2,731	—
計	41,169	5,985	6,772	1,022	54,950	3,421	58,371	△2,731	55,640
セグメント利益	2,422	887	854	58	4,223	252	4,476	204	4,680

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額204百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,758	5,472	7,482	1,013	53,726	1,429	55,156	—	55,156
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	634	0	17	55	707	1,793	2,500	△2,500	—
計	40,393	5,472	7,499	1,068	54,434	3,222	57,657	△2,500	55,156
セグメント利益	1,965	650	1,309	91	4,017	169	4,186	188	4,375

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額188百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

国内塗料事業

当第3四半期連結累計期間において、株式会社宇部塗料商會を新たに連結子会社としました。これに伴い負ののれん発生益26百万円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。